

調べ方ガイド 「日本は救急車の利用を有料化すべき？」

For. 2年6組&8組 / By.岡山芳泉高校図書館

※ここに掲載している情報はほんの一例です。ほかの資料を調べる時は、出典と正確さ・鮮度を確認しよう。出典明記もお忘れなく！

関係する官公庁

総務省消防庁 (<http://www.fdma.go.jp/>)

- ・最新の『消防白書』を全文公開。(アクセス：TOP→刊行物、映像データ等→消防白書)
- ・「救急車の適正な利用について」というページに「救急出場件数の推移」、「救急活動時間の推移」(平成10～平成20)の情報を掲載。(アクセス：TOP→刊行物、映像データ等→救急車の適正な利用について)

最初に読みたい基礎資料

【白書】

- ・『消防白書』。総務省消防庁 Web サイトで全文公開。特に「第2章 消防防災の組織と活動」の「第4節 救急体制」。

【キーワードで調べる】

- ・『現代用語の基礎知識』自由国民社[031]
- ・『朝日キーワード』朝日新聞出版[813.7]

参考になる図書

樋口範雄(2007)『医療と法を考える 救急車と正義』有斐閣。[498.12]

「医師・患者関係、応召義務、医業独占、医療事故への司法の介入、医療と個人情報保護、救急車トリアージ-。近時の重要なトピックについて「なぜ」そうなっているのかを問い直すことで、医療と法のあり方を再考する。」 ※県立図書館からの取り寄せとなります。

その他、芳泉高校図書館で印刷・ファイリングしている参考資料 (特集コーナーにあります)

「救急医療に関するアンケート調査 急病時への日頃の備えの実態と救急外来・搬送への受益者負担の意識」(2011年)

設問「救急車を利用した場合には、救急車の利用料として、一定の料金を負担してもよいと思うか」

※詳細情報：下開千春(2011)「救急医療に関するアンケート調査 ～急病時への日頃の備えの実態と救急外来・搬送への受益者負担の意識～」。

※アクセス：第一生命経済研究所ライフデザイン研究本部 (<http://group.dai-ichi-life.co.jp/dlri/ldi/>) →各種調査リリース
→『救急医療に関するアンケート調査』

「救急外来・搬送の受益者負担 生活者の意識と受療行動への影響」(2010年)

救急車の出場件数と救急隊数の推移、運営費をだれが負担するかという意識調査、日本と海外の比較等を掲載。

※詳細情報：下開千春(2010)「救急外来・搬送の受益者負担—生活者の意識と受療行動への影響—」

『Life Design Report (2010年10月号)』

※アクセス：第一生命経済研究所ライフデザイン研究本部 (<http://group.dai-ichi-life.co.jp/dlri/ldi/>) →ライフデザインレポート
→Report 研究レポート→「救急外来・搬送の受益者負担」

「横浜市における救急車利用に関する質問票調査」(2005年)

救急隊の運営費はだれが負担すべき？利用者が負担するなら、いくら？

※詳細情報：川上ちひろ[他](2005)「横浜市における救急車利用に関する質問票調査」『日本公衆衛生雑誌 52(9)』。

資料のお問い合わせは図書館まで♪

ここに掲載している情報はほんの一例です。ほかの資料を調べる時は、出典と正確さ・鮮度を確認しよう。レポートへの出典明記もお忘れなく！